

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	- .	総合計画	1 節 3 項 大規模プロジェクトを生かした 新しい地域整備
担当課・係名	都市整備課区画整理事業推進室推進係【問合せ・質問等の先 横地 賢一（268、269番）】		

業務の名称	長久手中央地区に関する事業																																						
(1)根拠法令・条例	土地区画整理法、長久手町土地区画整理組合に対する補助金交付条例																																						
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>25.00</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>185</u> 人・年 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・年)																																						
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>18,094</u> 千円 (平成18年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																						
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0.0</u> % (平成18年度実績)																																						
(5)業務期間	開始した年度	平成4年度	終了(予定)年度	平成31年度																																			
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)																																							
業務目的(達成目標)	大規模プロジェクトを生かした新しい地域整備として進め、新たなまちの顔となるように、まずは市街化区域に編入し、愛知県との十分な協議を実施し、平成21年秋頃の土地区画整理組合設立を目指す。 また、組合設立後スムーズな事業進捗が図れるように、勉強会を実施するなど、地権者を交えてまちづくりについて積極的な協議を進める。																																						
業務が対象とする住民(地域、層)	長久手中央土地区画整理事業地内の地権者及び公共施設の利用者																																						
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	地区内の一部が万博の駐車場として使用され土地の改変があったため、修正の現況測量を実施した。併せて、地区界の一部を変更したことにより、地区界の修正測量も実施した。 さらに、区画整理事業の事業化に向け、区画整理設計を委託した。 また、地権者対象の勉強会開催、まちづくりニュースを発行し、地権者への情報提供をした。																																						
業務の実施結果 (平成18年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現況及び地区界の修正測量 ・ 区画整理設計 ・ 地権者勉強会の実施(3回)、意向確認アンケートの実施 																																						
	【業務結果の説明指標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度実績</th> <th>18年度実績</th> <th>19年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>修正測量</td> <td></td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>区画整理設計</td> <td></td> <td>実施</td> <td>(修正)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>勉強会の実施</td> <td>5回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>アンケート実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				結果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標	1	修正測量		実施			2	区画整理設計		実施	(修正)		3	勉強会の実施	5回	3回	3回		4	アンケート実施	実施	実施			5				
結果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標																																		
1	修正測量		実施																																				
2	区画整理設計		実施	(修正)																																			
3	勉強会の実施	5回	3回	3回																																			
4	アンケート実施	実施	実施																																				
5																																							
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	事業計画書作成の前段となる基礎的な資料が作成できた。 また、勉強会及びアンケート調査を実施したことで、地権者側のまちづくりの意向確認、将来の土地利用の考えが、ある程度把握できた。																																						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度実績</th> <th>18年度実績</th> <th>19年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>事業計画・資金計画の作成</td> <td>(準備)</td> <td>(準備)</td> <td>実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>事業フレームの検証</td> <td></td> <td>(準備)</td> <td>実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				成果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標	1	事業計画・資金計画の作成	(準備)	(準備)	実施		2	事業フレームの検証		(準備)	実施		3						4						5				
成果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標																																		
1	事業計画・資金計画の作成	(準備)	(準備)	実施																																			
2	事業フレームの検証		(準備)	実施																																			
3																																							
4																																							
5																																							

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
平成18年度に、区画整理設計を実施したことにより、概算の事業フレームができていますが、そのままの状態では、事業化が困難であるため、事業計画を作成するにあたり、十分な検討が必要である。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
これまでの区画整理事業とは違い、設立後の事業期間の短縮を図ることを前提に、通常の基本的な委託業務とは別に、直接地権者との話ができる機会が設けられるよう、勉強会開催を主としたソフト事業を実施している。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価（5～1点）
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.2点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 （該当番号に○印）	<ol style="list-style-type: none"> ①. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	これまでの関係機関との協議・調整結果により、平成19年8月17日に、都市計画決定の説明会が実施され、着実に事業化に向けて準備が進められており、今後も、必要な調査の実施、関係機関との協議図書を作成し協議を行い、より早期の事業化（組合設立）を目指すためにも、継続して事業を行う。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
まずは、確実性のある事業計画の策定が必要である。さらに、短期間の本同意収集、組合設立後の早期の工事着手を実現するために、地権者と直接接する機会を作るため、継続して勉強会などの開催も予定しているが、より多くの地権者が参加し、意見・提案が聞けるように、こちらからも「まちづくりニュース」などで積極的に情報提供していく必要がある。